

令和5年度2月補正予算の概要

【総括】

(単位 千円、%)

区分	補正前額	補正額	補正後額	本年度当初比	前年度同期比
一般会計	25,067,205	△1,161,281	23,905,924	+10.1	+6.6
特別会計	10,517,531	△147,663	10,369,868		
国民健康保険事業	4,280,188	30,445	4,310,633	+3.8	+3.5
土地取得事業	656,511	△3,428	653,083	+0.2	+22.1
三国地区財産区管理事業	9,673	1,514	11,187	+15.7	-19.9
後期高齢者医療事業	654,121	△16,687	637,434	-2.5	+2.4
介護保険事業	4,336,964	△56,354	4,280,610	+5.5	+4.0
予防サービス事業	20,431	△330	20,101	-1.1	-4.4
宅地造成分譲事業	77,395	△60,422	16,973	-78.1	-2.8
企業用地造成事業	482,248	△42,401	439,847	+577.2	-3.5
事業会計	12,663,770	△40,000	12,623,770		
病院事業	6,189,833	△40,000	6,149,833	-0.5	-1.8
合計	48,248,506	△1,348,944	46,899,562		

【概要】

《一般会計》

一般会計補正予算（第14号）は、歳入では、実績見込みに伴う市税の増額、各種交付金の交付決定に伴う調整、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の計上、国の補正予算に伴う普通交付税の増額のほか、各事業費の実績見込みに伴う基金繰入金等の財源調整等、歳出では、マイナンバー利用に係る戸籍システム改修委託料の計上、国の補正予算の成立に伴い前倒して実施される県道改良、急傾斜地崩壊対策及び港湾改修の各種県工事負担金の増額、臨時財政対策債の償還に充てるため普通交付税に措置された減債基金積立金の計上等のほか、各事業費の実績見込みによる調整及び財源更正並びに継続費、繰越明許費、債務負担行為及び地方債の補正を行っている。

補正額は、歳入歳出それぞれ11億6,128万1千円を減額し、予算総額で239億592万4千円となった。

(単位 千円)

事業名等	補正前額	補正額	補正後額	担当課
【歳入】 市民税	1,733,257	189,137	1,922,394	税務課
【歳入】 固定資産税	2,544,031	116,912	2,660,943	税務課
【歳入】 株式等譲渡所得割交付金	20,000	10,000	30,000	財政課

事業名等	補正前額	補正額	補正後額	担当課
【歳入】 新型コロナウイルス感染症対策 地方税減収補填特別交付金	0	16,000	16,000	財政課
【歳入】 普通交付税	6,229,260	103,619	6,395,879	財政課
【歳入】 財政調整基金繰入金	768,117	△768,117	0	財政課
戸籍システム改修委託料 (マイナンバー制度対応)	0	10,943	10,943	市民課
道路改良事業県工事負担金	9,450	1,912	11,362	建設課
急傾斜地崩壊対策事業県工事負担 金	2,220	2,555	4,775	建設課
港湾改修事業県工事負担金	36,434	1,997	38,431	建設課
減債基金積立金	369	56,660	57,029	財政課

《特別会計》

国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）は、実績見込みによる保険給付費などの調整及び県支出金などの財源の補正を行っている。

補正額は、歳入歳出それぞれ3,044万5千円を追加し、予算総額で43億1,063万3千円となった。

土地取得事業特別会計補正予算（第2号）は、土地開発基金繰出金の減額並びに用地先行取得事業に係る繰越明許費の設定を行っている。

補正額は、歳入歳出それぞれ342万8千円を減額し、予算総額で6億5,308万3千円となった。

三国地区財産区管理事業特別会計補正予算（第1号）は、繰越金の増額のほか、立木の売払いに伴う立木売払等交付金の増額等を行っている。

補正額は、歳入歳出それぞれ151万4千円を追加し、予算総額で1,118万7千円となった。

後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）は、実績見込みによる後期高齢者医療広域連合納付金の減額などのほか、一般会計繰入金などの財源の補正を行っている。

補正額は、歳入歳出それぞれ1,668万7千円を減額し、予算総額で6億3,743万4千円となった。

介護保険事業特別会計補正予算（第2号）は、実績見込みによる保険給付費の減額などのほか、支払基金交付金などの財源の補正並びに繰越明許費の設定を行っている。

補正額は、介護保険事業勘定の歳入歳出それぞれ5,635万4千円を減額し、予防サービス事業勘定の歳入歳出それぞれ33万円を減額し、予算総額で43億71万1千円となった。

宅地造成分譲事業特別会計補正予算（第2号）は、実績見込みにより鶴海団地の造成に係る事業費を減額するほか、一般会計繰入金の財源の補正を行っている。

補正額は、歳入歳出それぞれ6,042万2千円を減額し、予算総額で1,697万3千円となった。

企業用地造成事業特別会計補正予算（第2号）は、実績見込みにより吉永の福満企業用地の造成に係る事業費を減額するほか、一般会計繰入金等の財源の補正並びに繰越明許費の設定を行っている。

補正額は、歳入歳出それぞれ4,240万1千円を減額し、予算総額で4億3,984万7千円となった。

(単位 千円)

区分	事業名等	補正前額	補正額	補正後額	担当課
国民健康保険事業	保険給付費（一般被保険者療養給付費）	2,491,278	28,538	2,519,816	保健課
土地取得事業	用地先行取得事業（繰越明許費）	-	(233,453)	-	土地住宅政策課
三国地区財産区管理事業	財産区管理費	935	98	1,033	管理課（吉永）
後期高齢者医療事業	後期高齢者医療広域連合納付金	616,832	△10,919	605,913	保健課
介護保険事業（介護保険事業勘定）	【歳入】介護給付費交付金	992,249	△57,408	934,841	介護福祉課
	保険給付費（介護サービス等諸費）	3,341,142	△135,000	3,206,142	
宅地造成分譲事業	鶴海住宅団地造成事業費	76,490	△60,422	16,068	土地住宅政策課
企業用地造成事業	福満企業用地造成事業費	479,600	△42,000	437,600	産業振興課

《事業会計》

病院事業会計補正予算（第2号）は、資本的収入において、日生病院の機器購入に係る他会計補助金を減額する補正を行っている。

補正額は、支出総額に異同なく61億8,983万3千円となった。

(単位 千円)

区分	事業名等	補正前額	補正額	補正後額	担当課
病院事業	【資本的収入】 他会計補助金	125,500	△40,000	85,500	病院事業